

期末レポート

桂田 祐史

2024年7月5日, 2024年7月29日

ゼミで発表したこと (発表時に分からなかったが後から分かった、ということも書いて良い — もしあれば) を“原則として全て” レポートにまとめて書く。

- 提出とフィードバックは Oh-o! Meiji のレポート・システムを使う。
- 1次提出 \times 切: 7月31日 (水曜) (注: 定期試験は7/29まで). この日までに提出されたものは、8/2 (金曜) までにコメントをフィードバックします。
- 最終提出 \times 切: 8月4日 (日曜). フィードバックコメントに可能な限り対応すること。
- 早く終わらせたい場合は、早めに提出して下さい。こちらも早く (原則2日以内に) フィードバックします。(念のため、提出したことをメールやLINEで連絡して下さい。)

注意事項

- 一番大事なことは想定する読者。このゼミのレポートでは、“自分達”と同程度の知識・学力のある人、今回発表したことを知らなかった頃の自分を想定して下さい。
- 常識でない言葉や知識は、必ずレポート中で説明する。数学用語ならば定義を書くこと。
- 何か主張する場合は、その根拠を述べる。数学的事実ならば証明を書くか、証明がどこに書かれているか。“事実”については、データとか観察記録とか、何かの文献書とか。
- 実験などは追試が出来るような情報をつける。数値実験などはプログラムの添付などを検討する。
- レポートは、基本的に文章である (主語・目的語は省略しない、修飾語も必要ならばつける、paragraph writing)。その点でパワー資料とは違う。
- 形式について
 - フォーマット 紙で配ったものに書き忘れましたが、A4サイズのPDFにして下さい。
 - 表紙 「総合数理ゼミナールレポート」以外に内容を表すタイトル
学年・組・番号・氏名, 提出日付 (西暦)
 - 目次 各 section の見出しと開始ページ (ページ番号をつける)
 - イントロ 何をテーマとするか、なぜそれを選んだかを書く。
何が分かったか、(本論前に書けるならば) イントロに書いても良い。
(論文では、先行研究などもイントロに書くのが普通)
 - 本論 ここが一番長い。複数の section に分けるのが普通。
 - むすび 何が分かったか (できたか) を書く。やり残した課題を書くこともある。
数学の論文などイントロに結果が書けた場合は、むすびがないこともある。
でも普通は書いた方が良い。
 - 付録 細かいことは、結びの後に、付録として収録する。
 - 参考文献表 書籍ならば著者・タイトル・出版社・発行年、ネット資料もそれに準じる
(著者名は分かる範囲で、出版社・発行年の代わりにURLと閲覧日)